

平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	臨床研究実施体制確保対策費			<b>担当部局庁</b>	医政局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成28年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	研究開発振興課		課長：神ノ田 昌博		
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	1-8-1 革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	医療法(昭和23年法律第205号)第25条3項			<b>関係する計画、通知等</b>	「医療法の一部改正(臨床研究中核病院関係)の施行等について」(H27.3.31)				
<b>主要政策・施策</b>	医療分野の研究開発関連			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療法(昭和23年法律第205号)第25条第3項の規定に基づく立入検査により、臨床研究中核病院がその有する人員若しくは医療法及び関連法令により規定された人員及び構造設備を有し、かつ、適正な管理を行っているか否かについて検査することにより、臨床研究中核病院を科学的で、かつ、適正な臨床研究を行う場にふさわしいものとするを目的とする。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	医療法第25条第3項に基づく立入検査については、厚生労働大臣の承認を得た臨床研究中核病院の各施設に赴き、法令により定められている人員及び構造設備等を有し、適正な管理が行われているかを検査し、不適切な場合は指導等を通じ改善を図る。								
<b>実施方法</b>	直接実施								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	2		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		0	0	0	0	2		
	執行額		-	-	-	-	-		
執行率(%)		-	-	-	-	-			
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28年度
	全臨床研究中核病院に立入検査を実施する。		立入病院数		成果実績	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	10
					達成度	%	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	改善等の指導(口頭を含む)を行った病院数				活動実績	-	-	-	-
					当初見込み	-	-	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠				単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト=X / Y				単位当たりコスト	百万円	-	-	-
	X:予算執行額 Y:立入病院数				計算式	X / Y	-	-	-
平成27・28年度予算内 (単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	職員旅費		-	2					
	計		0	2					

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	医療法第25条3項に規定されており、国費を投入すべき。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医療法第25条3項に規定されており、実施できるのは、厚生労働省のみである。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	医療法第25条3項に規定されているため、実施が必要な事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

